

令和8年度 第1回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月11日（月） 午前9時から午前10時30分まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、林 左和子、今中 秀裕、中川 清子、杉山 晴康、
中村 将義、曾布川 洋平、鈴木 憲人、松井 育子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター長）、島 一道（中部協働センター主任）
- 6 学 校 安川 剛史（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、
船越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長が本日の議長を務めることを申し出て、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）学校運営の基本方針・東小いじめ防止基本方針について
 - （2）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
 - （3）学校運営協議会の自己評価・本年度の目標について
 - （4）学校運営の支援について
- 11 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針・東小いじめ防止基本方針について

- 議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針・東小いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - 今朝はあいさつの日で校門に立っていたが、みんな挨拶をしてくれた。大きな声であいさつする子、少し恥ずかしそうな子などいろんな反応が見られたが、あいさつの日はたくさんの方が子供を見守っていることを感じられて良いと思う。（小名木委員）
 - 将来の夢や今後やってみたいことを考えるようなキャリア教育があっても良いのではないか。将来に向けてどんなことが自分に必要か考える機会があると良い。（中村委員）
 - 以前は、学校は学力を伸ばすことが主体であったように思う。校長先生の話をついて、今は人間力を伸ばすことにも力を入れているという点が素晴らしいと感じた。学力だけでなく、人間らしさや努力、我慢といったような非認知能力も一緒に伸ばしていくことがとても重要だと感じる。（鈴木委員）

(2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

- 議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを了承した。

(3) 学校運営協議会の自己評価・本年度の目標について

- 前年度の自己評価をもとに、本年度の目標について確認を行った。

(4) 学校運営の支援について

- ミシンボランティアなど、今後も地域の方へ協力をお願いしていく。(鈴木委員)
- 子供が少なくなり、大人数で活動するような機会が減っている。集団で行う部活やクラブ活動については、学校の中だけではなく学校から外へ出て、同じ志を持った人と一緒に活動するといったことが必要になるのではないかと。小学生もどんどん学校から地域へ出てきてほしい。協働センターなどの施設でも子供と地域をつなぐ活動を積極的に行い、どんどん情報を発信して行ってほしい。(杉山委員)
- 昨年中部協働センターで様々なイベントを行った。これまで行ったことのない催しもたくさんあったが、それらは地域の方からの提案で行ったものである。地域の方がたくさん集まってくれることで、協働センターの存在が活きてくる。異世代との交流ができるのも協働センターの良いところなので、今後も学校と地域のつなぎ役になっていきたい。(佐藤オブザーバー)
- 校外学習などで協働センターなどをもっと活用してほしい。文芸大も隣にあるので、もっと関わりがあっても良いのではないかと。(今中委員)
- お話し会を行う際、小学生の子が来てくれると学生にとって良い影響があると思う。学祭ではいつもたくさんの小学生が来てくれてとても盛り上がるので、普段からもっと関わりをもてるように一緒に考えていきたい。(林委員)

○ 学校支援コーディネーターからの報告

- ・新しい活動ができないか模索している。これまで行っていた内容に加えて、今後は協働センターとも連携しながら学校で必要としている支援を行っていきたい。

○ その他

司会から、次回会議は、令和8年6月17日(水)午後13時20分から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。

次回議長については、委員から杉山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。